

# 市民の暮らしを守り、 願い実現へ全力

## 新年度一般会計予算に賛成

### 学校給食費の無償化が実現

日本共産党青梅市議団は、義務教育の負担軽減を繰り返し求め、「学校給食費の無償化についても、安定的に行うために、基金の設置」を提案していました。新年度「子どもまんなか応援基金」が創設され、給食費無償化の他にも保育園等の副食費補助も行われます。本来国が責任をもって行うべきであります。市立以外の私立などに通う小中学生にも無償化の拡充が求められます。

新年度予算は前市政同様の問題点を多数抱えながらも、新年度に策定する「子ども計画」では、児童館を含む子供の居場所づくりを盛り込むこと、市長が市民の声を聞

きながら市政を進める姿勢を示している事など、市民要望に

面が各分野にみられること等、今後の大きな変化を期待する意味も込めて総合的に判断し、一般会計予算に賛成しました。

教育費・子育て負担のさらなる軽減のために、今後修学旅行費、教材費、自転車通学、成木小、7中などの特別認定校の通学費補助を求めています。



青梅市議会議員

藤野ひろえ

日本共産党青梅市議団

2024年3月・4月

市議会報告

### 補聴器購入補助も実現

認知症の危険因子とされている加齢性の難聴対策として、東京都が助成をする区市町村に、2分の1を補助する制度が新年度から始まります。

日本共産党青梅市議団は、繰り返し購入補助制度を求めてきましたが、新たな都の補助制度を活用して、足を踏み出すことを求めた

私の一般質問に、「実施する」と答弁しました。

制度の開始時期はまだ不明ですが1日も早い制度のスタートを求めます。



暮らしの相談・法律相談（要予約）はお気軽どうぞ  
「老老介護しているが、おむつ代、タクシー代の負担が重い、なんとかならないのか」「公園の遊具が壊れて使えなくなっている。早く直してほしい」など、何でも相談ご連絡ください。

連絡先

090-4003-9987



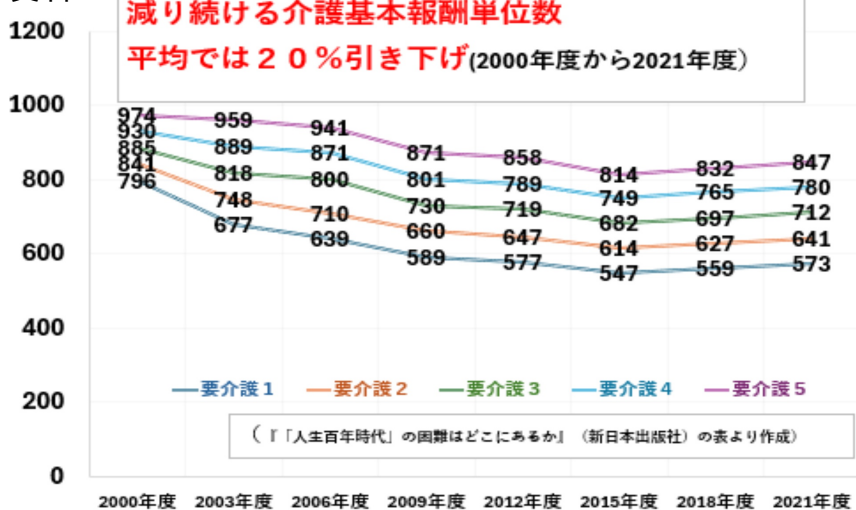
（浄法寺輝男さん提供）

# 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険は すべて値上げで反対

ギャンブル依存症問題が深刻なモーターボート競走事業も従来通りの姿勢であったために、これらの予算は反対しました。国民健康保険と後期高齢者医療は2年に1度、介護保険は3年に1度の値上げです。

国は軍事費は大幅に増やし、年金・医療などの社会保障費は削減し、暮らしが脅かされています。介護の現場では、人手不足や低い報酬で、安心して働くことも介護も受けられません。日本共産党は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険は国民の負担増ではなく、国の公費負担割合を増やすことを求めています。

資料



3年ごとの介護報酬改定は、2000年から22年間で、要介護1の介護基本報酬単位数は28%減に、要介護2は23・8%減に。

## コミバス実現に向けて陳情採択を主張 日本共産党青梅市議団

日本共産党青梅市議団は、市民の願いであるコミュニティバスの実現に向け、繰り返し議会で取り上げ、市民とともに署名運動にも取り組んできました。

2月議会には5168筆の署名とともに陳情が出されました。しかし賛成少数で陳情は不採択となってしまいました。昨年河辺地区で、取り組まれたグリーンスローモビリティについて、新年度は、車両の変更を含め検討し、

さらに実証運行に取り組む予算が組まれています。

日本共産党青梅市議団は、コミュニティバスは26市のほとんどで運行されており、青梅市でも民間の既存のバス路線と競合しないように、デマンド型交通なども含めて各地域の特性に合った公共交通の充実が図れるようにこれからも求めていきます。



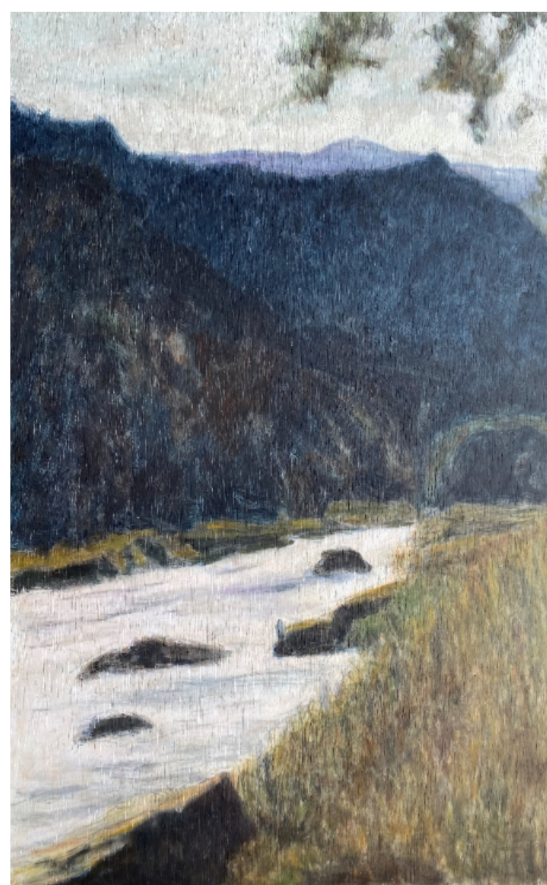
## 明星大学跡地に 日本航空学園石川が移転



明星大学青梅キャンパス正門

石川県能登半島地震で被災された皆様にお見舞いと1日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

日本共産党青梅市議団は、明星大学跡地購入はストップを求めてきました。市長も購入は困難と大学側に伝えていました。能登半島地震の被害という痛ましい結果ではありますが、被災した学園の生徒・学生・職員など約1000人が4月から移転してくる事になり歓迎しています。安心して学べる環境づくりと、地域の活性化にも市が努力されることを望みます。



(浄法寺輝男さん提供)